

第4回「川の日」ワークショップ

みんなに愛される“いい川”“いい川づくり”公開審査

川をテーマにした市民活動が全国に広がっています。行政も多自然型川づくりや市民参加型川づくりに積極的に取り組むようになりました。しかし、市民と行政、どちらも一懸命なのに、川への関わり方や価値観などが食い違っていたりすることがあります。市民と行政がバラバラになったままでアプローチするのではなく、まずは共通のテーブルについて、「いい川とは何か」を一緒に探ろうというのが、このワークショップの第一の目的です。それは、同時に市民と行政の、そして人と人との交流という目的も持っています。では、どのような方法で探ればいいのか。市民（団体）と行政がそれぞれ関わっている川の具体例を応募して、それを「公開審査」という手法で評価しあい、その中から「いい川」のイメージを見つけ出すというユニークな試みがこのワークショップです。

7月7日「川の日」の記念行事として1998年にスタートしたこのワークショップは、第1回は105、第2回（99年）は71、昨年の第3回でも全国から71の応募があり、毎回約300～400名が一堂に会して活発な議論が繰り広げられ、交流を深めてきました。

第3回では、小河川や用水路のエントリーも増えましたが、全国各地では川のみならず、さまざまな水辺の取り組みが進められています。第4回では、こうした、より多くの取り組みや事業に対して呼びかけていきたいと思えます。これまで同様、“いい川”“いい川づくり”の2つの部門で募集しますが、「環境改善」「川に学ぶ」「福祉」「パートナーシップ型の取り組み」「安全な川づくり」などのような、活動の目的や取り組みの方法、さまざまな水辺など、いくつかのテーマを設定し、審査を進めていく予定です。ふるって応募してください。

- 日 時**：2001年7月14日（土）午後1時開会，15日（日）午後4時閉会
* 7/14：午後1時開会～午後5時（全体集会、一次審査）午後6時から懇親会
* 7/15：午前9時～午後4時（二次審査及び表彰式）
- 会 場**：7月14日 国立オリンピック記念青少年総合センター
（渋谷区代々木神園町・小田急線 参宮橋駅より5分、宿泊施設あり）
7月15日 明治神宮参集殿（明治神宮内）*オリンピックセンターからは歩いて行きます
（渋谷区代々木神園町・JR山手線原宿駅，地下鉄千代田線明治神宮前駅より5分）

公開審査の方法

- 審査は、初日に第一次審査（グループ別で行います）、2日目に第一次審査で選に漏れた作品の中からの敗者復活、第二次審査（全員が一堂に会して行います）を行う予定です。
- 応募者はプレゼンテーション用のパネルを用意し、3分間でパネルやスライドなど自由な方法で発表、アピールします。
- 審査は、実行委員幹事会で選出された審査員が行います。審査員は市民（グループ）、行政、学識者などから一次、二次別々に選ばれます。
- 二次審査の結果、入賞作品などが選ばれ、入賞作品にはオリジナルの表彰状と副賞が贈呈されます。

審査の視点

公開審査における評価は、プロセス評価、関わり評価、状況評価、新技術・アイデア評価、発想評価などの視点から総合評価します。

応募について

- 応募される方は、応募申し込み用紙を送付の上（締切り6月15日消印有効）、発表用パネルを作成し、当日持参していただきます（審査資料作成のため、パネルの縮小版（A3）を6月25日までに郵送）。
- これまでの「川の日」ワークショップで選にもれた作品の再応募も歓迎します。
- 市民として応募の方で遠方の方は、旅費の一部負担を考えています。行政の方は自己負担にてお願いします。
- 応募したい方は下記事務局までご連絡ください。応募要項等を送付いたします。また、これまでの開催についての資料をご要望の場合もお問い合わせください。

応募・問い合わせ先：第4回「川の日」ワークショップ実行委員会事務局
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-10-34-501（山道アトリエ内）
TEL：03-3408-2466（ファクシミリ共通） E-mail:yamamichi@mm.newweb.ne.jp
ホームページURL：http://homepage2.nifty.com/icas/kawanohi/index.htm

主 催：第4回「川の日」ワークショップ実行委員会
実行委員長 森 清和、総合コーディネーター 延藤 安弘、他約100名

協力団体：全国水環境交流会，社団法人 日本河川協会，NPO法人自然環境復元協会

*このワークショップは、各種助成金にて運営されます。